

# 支店窓口営業時間短縮のお知らせ

支店職員全員が交代で訪問活動を実施する「ふれあい訪問活動」をテーマに掲げ  
創立100周年を目指して参ります

日頃より当組合の事業に対しまして特段のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当組合の支店窓口の営業時間につきましては、平成30年11月5日(月)より、正午から午後1時まで業務を休止して  
防犯(JAバンクルールで営業時間中3名以上が在店)と働き方改革に対応してまいりました。

コロナ禍で一段とキャッシュレス化に拍車がかかり、インターネットバンキングの普及・ATMの多機能化から  
窓口来店者が減少し、さらにはマイナス金利政策などによる収益の悪化により多くの金融機関では店舗の閉店・統廃合が  
進みました。その結果、店舗が遠のき、高齢者の方や病気や怪我で外出困難な方が難儀されています。

当組合では、限られた人員で現在の店舗数を維持し、変わらぬサービスの提供を継続しながら組合員・利用者へ寄り添った  
対応を図り、**本店を除く各支店の営業時間を正午までに短縮し「午前中営業」とする**ことで、  
午後からは訪問活動と相談業務に充て、組合員・利用者皆様への支援をより充実  
させてまいります。

## 【対象店舗】(本店を除くJA山形市の各支店)

・北山形支店・小白川支店・下条支店・上町支店・美畑支店

●変更開始日 **令和9年1月4日(月)**

●窓口業務営業時間 **午前9時～正午**

午後からの急な出金や振込等の手続きが必要な場合は、支店内の職員が個別対応いたしますので、遠慮なく支店にお申し出ください。(これまで通り午後3時まで)

また、電話での受付は従来通り午後5時まで対応いたします。

## 【窓口時間変更による具体的な取組み】

●金融部・各支店とも、「相続まるごと相談所」として相談機能を充実させます。


●窓口は午後から「出前窓口」形式で訪問します。

運転免許を返納した高齢者の方や、インターネットバンキングの苦手な方、  
都合が悪く窓口に来られない組合員・利用者へ訪問します。

●役席者は訪問または来店による相談業務に特化します。

●外務員は訪問活動を通じて「くらしの相談員」業務を担います。

## 山形市農業協同組合 本店

 農中信託銀行 遺言信託代理店

■金融部 〒990-0038 山形市幸町18-20 TEL:023-623-0513

■北山形支店 〒990-0822 山形市北山形1-3-42 TEL:023-644-3206

■小白川支店 〒990-0021 山形市小白川町4-3-21 TEL:023-623-0446

■下条支店 〒990-0823 山形市下条町2-12-28 TEL:023-644-5285

■上町支店 〒990-2483 山形市上町3-6-45 TEL:023-644-6611

■美畑支店 〒990-2493 山形市美畑町11-17 TEL:023-632-3840

相続のご相談はJA山形市へ  
**相続まるごとサポート**  
相続・事業承継に関する様々な事務  
手続きをまるごとサポートいたします

 SINCE 1948  
JA山形市 

訪問活動を基本に、組合員利用者と“絆”を深め、多様化するニーズに対応する

## 信用事業

### ● 支店窓口営業時間の短縮について

- 令和9年1月4日(月)より支店窓口営業時間を午前9時から正午までに短縮する予定です。  
午後からの急な出金や振込等の手続きが必要な場合は、支店内の職員が個別対応いたしますので、遠慮なく支店にお申し出ください。また、電話での受付は従来通り午後5時まで対応いたします。本店窓口営業時間はこれまでどおり午前9時から午後3時までで、変更はありません。  
JAバンク体制整備基準(※)と防犯上の観点から、平成30年11月5日から支店窓口業務の昼時間を休止としてまいりました。今回の時間短縮の目的は相談業務の強化であり、午後からは訪問活動と相談業務に充て、組合員・利用者への支援をより充実させるものです。  
当組合は、創立100周年に向けて組合員の拠点である店舗機能を継続するため、窓口対面営業と外務活動による対面営業の両立を図る上で、限られた人員での窓口業務の短縮を行うものです。午後からは外務員だけでなく窓口職員も交替で外務活動を行います。  
当組合では店舗の統廃合はせずに現在の店舗数を維持し、良質なサービスを続けていきます。

#### ● 背景

- 金融機関の店舗統廃合は1990年代のバブル崩壊による収益悪化で合併・経営統合が進み、店舗の統合・閉店が続いた。2008年にはリーマンショックによる世界中の金融市場が混乱し、連鎖的に世界同時不況を引き起こし、日本でもバブル崩壊から始まったデフレ不況を長引かせる要因となった。2016年に日本銀行はデフレ脱却と景気回復を図る為マイナス金利政策を導入、異例の金融緩和策でしたが長期的な低金利により預貸業務の収益力が悪化したため運営費用のかかる店舗・ATMの維持ができなくなった。更には、デジタル化(DX)の進展と人口減少により来店客数の減少が続いた。
- デジタル化により、スマートフォンによるオンラインアプリでの利用が増加し、キャッシュレス決済やインターネットバンキングの普及、コンビニATMとの連携により金融機関窓口だけでなくATMの利用も大幅に減少した。
- 他金融機関では、コロナ禍を経てキャッシュレス化が浸透し、店舗の統廃合が進んでいる。

当組合でも調査の結果、コロナ禍で来店客数が激減し、急速に進んだデジタル化による非対面取引(インターネットバンキング)が24時間出来ることから、コロナ禍後も来店客数が更なる減少傾向にある。

### ※ JAバンク体制整備基準

- 信用事業を営む店舗には機構図上役員者2名以上を含む最低4名以上配置され、事務を的確に処理する体制が構築されているとともに、就業時間中は常時3名以上の信用担当職員が在店している。
- 就業時間中、不祥事未然防止・内部けん制確保、役員者承認取引にかかる役員者の確実な承認の観点からオンラインキャッシャ等現金事務効率化機器を導入した場合であっても、窓口後方事務担当者および、管理者の3名が金融店舗内に常駐することを心得とする。

### 【当組合店舗開設のあらまし】

- 昭和23年8月
  - 本店 (昭和38年3月新築/平成17年3月新築移転)
  - 北山形支店 (昭和43年8月新築/令和8年5月新築)  
2店舗体制で業務開始
- 昭和39年9月
  - 小白川支店 本店より分離開設  
(平成22年3月新築移転)
- 昭和53年8月
  - 下条支店 北山形支店より分離開設
- 昭和54年11月
  - 上町支店 本店より分離開設  
(令和4年3月新築移転)
- 昭和60年7月
  - 美畑支店 本店より分離開設  
(平成18年3月新築)

### 【山形県内 金融機関店舗数 推移表】 50年間の推移表

区 分	S50年	S60年	H7年	H17年	H27年	R7年
総 数	320	1,104	1,099	953	828	655
普 通 銀 行	153	275	268	238	196	92
都市銀行 支店	2	3	3	1	1	1
地方銀行 本支店	82	143	265	237	195	91
相互銀行 本支店	69	129	-	-	-	-
信 用 金 庫	31	46	56	59	55	42
信 用 組 合	28	34	41	36	26	22
商 工 組 合 中 央 金 庫	1	2	2	2	2	2
勞 働 金 庫	8	12	14	14	13	12
農 林 水 産 金 融 機 関	99	339	315	213	138	89
農 林 中 央 金 庫	1	1	1	1	1	1
農 業 協 同 組 合	83	323	299	206	134	85
県 信 連	7	6	6	1	-	-
漁 業 協 同 組 合	8	9	9	5	3	3
郵 便 局	※-	396	403	391	398	396

引用：山形県勢要覧より抜粋 ※郵便局：昭和50年データ無 相互銀行はH元年以降普通銀行へ転換、地方銀行へ含む